



かながわの交通

交通安全年間スローガン

～一般部門A：運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの～
～警察庁長官賞（優秀作）～

2015年11月号

シートベルト 締めれば安全 家族は安心



箱根大名行列（足柄下郡箱根町）



自転車はどこを走ったらいいの…？ 教えて！

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

チリリン・スクール を一緒にやりませんか。

◎県内の交通事故発生概況(平成27年10月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死 者 数	傷 者 数
平成27年		23,329	140	27,807
平成26年		24,856	155	29,460
増 減 数		-1,527	-15	-1,653
増 減 率		-6.1	-9.7	-5.6

	総 数	男	女
県 人 口	9,118,562	4,555,228	4,563,334
免 許 人 口	5,608,342	3,234,227	2,374,115
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成27年9月1日、免許人口は平成27年9月末現在)

発進は チャイルドシートの笑顔見て

飲酒運転根絶強化月間

● 実施期間

平成27年12月1日(火)～12月31日(木)の1か月間

● 目的

悲惨な交通事故を引き起こす飲酒運転を根絶するため、飲酒運転の危険性、悪質性を訴える運動を県民総ぐるみで展開します。

● スローガン

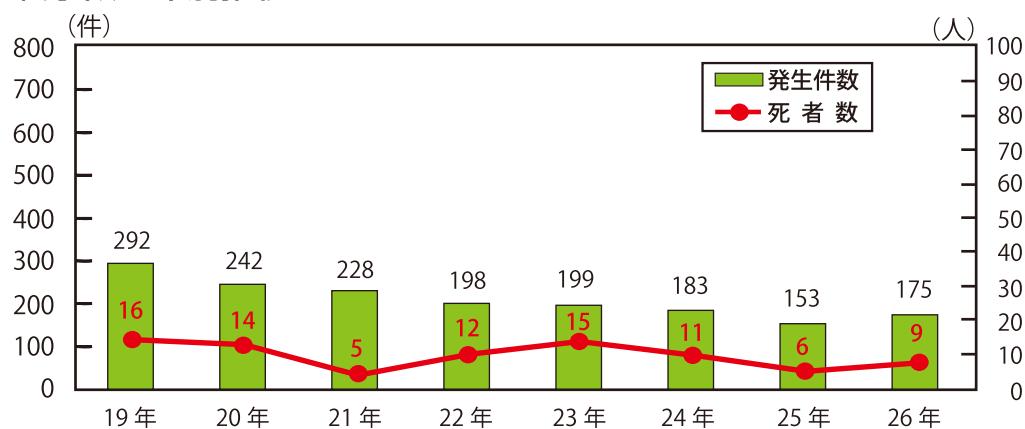
乗る人に 飲ませるあなたも 犯罪者

● 重 点

- ・飲酒運転根絶運動の周知徹底と広報啓発
- ・飲酒運転を助長する環境の根絶
- ・ハンドルキーパー運動の推奨



■ 飲酒運転事故の年別推移



2015飲酒運転を根絶しよう!!県民大会

今年は、2月に茅ヶ崎市内で少年が飲酒運転し6人が死傷する事故、8月には葉山町で飲酒運転と思われる車両が歩行中の海水浴客に高速度で衝突した悲惨な交通死亡事故が発生するなど、飲酒を伴う交通事故が増加している中、12月中に実施する「飲酒運転根絶強化月間」を控えて、去る11月5日(木)午後、川崎市中原区のグランツリー武蔵小杉において、「2015飲酒運転を根絶しよう!!県民大会」が開催されました。



冒頭で飲酒運転事故被害者に対する黙祷を行った後、県くらし安全交通課青木課長のあいさつ、県交通安全母の会連合会新井トキ子理事による飲酒運転根絶宣言に続いて、「信号マン」が登場して飲酒運転根絶アトラクションが行われ、集まった子ども達や保護者、施設利用者に「パパやママにお酒を飲んだら運転しないで!飲酒運転はだめ!」と呼びかけるなど、飲酒運転の根絶を訴えました。

この後、イベント広場に集まった観客や利用者などに当協会が提供した啓発グッズ(「飲酒運転根絶」ラップ)などを配布しながら飲酒運転根絶キャンペーンを行いました。



★**ストップ・ザ**

交通死亡事故

全国では、第9次交通安全基本計画で年間のいわゆる「24時間交通事故死者数」を3,000人以下とする目標を掲げていますが、10月8日、その目標を3人超えてしまい、一方神奈川県でも、交通事故の発生件数、死者数、負傷者数は昨年と比べて減少しているものの、年間の24時間死者数を150人以下とする目標達成が極めて厳しい交通情勢にあります。

これから年末にかけて交通事故が多発傾向にありますので、警察署等



と連携し、県内の交通事故の約56%が交差点及びその付近で発生していること、高齢者事故が多発しているなど、その地域の交通事故実態を踏まえた効果的な交通事故防止の取組みをお願いします。

活動に当たっては、懸垂幕（「ストップ・ザ・交通死亡事故」の掲揚、ハンドプレート「速度注意」等）等の活用をお願いいたします。



第46回全国白バイ安全運転競技大会



団体優勝、個人総合優勝《神奈川県警察》

去る10月10、11日茨城県自動車安全運転センター安全運転中央研修所で開催された第46回全国白バイ安全運転競技大会において、神奈川県警チームは13年ぶり3回目の団体優勝を飾り、個人でも第一交通機動隊の結城 靖選手が総合優勝の栄冠に輝きました。

大会では、初日のバランス競技、トライアル競技を終えて団体第5位とやや出遅ましたが、2日目のモトクロス競技で種目別1位、2位と上位を占めて1日目の劣勢を跳ね返し、続くスラローム競技でも上位に入る安定した走りを見せ、大逆転で見事に団体優勝を勝ち取りました。

個人では、優勝した結城選手以外の2人の選手も第5位と第6位に入賞しています。



（結城選手のスラローム）

二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査の実施

県二輪車安全運転推進委員会(西村昇委員長)では、神奈川県警察、神奈川県二輪車普及安全協会等の協力を得て、10月10日(土)運転免許試験場において二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査を実施しました。

この講習会・審査は、二輪車の安全運転について知識・技能・指導力を有する指導員を養成し、二輪運転者に対する積極的かつ効果的な交通安全教育を推進することを目的に行いますが、二輪車メーカー、二輪車販売店従事者、二輪車運転業務従事者など14名の方が受講しました。

当日は、開講式に続いて、午前中は県警担当官による適性検査、学科講習、学科審査、午後からは二輪車安全運転推進委員会特別指導員の指導で実技講習を行った後、実技審査、最後に面接審査を行いました。

合否の結果については、後日、判定委員会を開催し、11月中旬ころまでに県二輪車安全運転推進委員会から合格者本人に連絡、希望者には認定証、指導員手帳、バッヂ、ワッペンを交付する予定です。



受賞おめでとうございます

警察本部長（連名表彰）

地域交通安全活動推進委員協議会連絡協議会会长

地域交通安全活動推進委員制度は平成3年1月から全国でスタートしたものですが、交通の安全と円滑を図るために活動している中で、顕著な功労のあった原則として在任期間10年以上の個人と、多年にわたる地道な推進委員協議会活動により顕著な功労があった団体を対象として毎年表彰しています。



● 交通安全功労者(50人)(敬称略)

菊地 豊、鎧田 肇(山手)、片柳 豊(磯子)、金子弘一(金沢)、田邊静子、杉本弥生、下山貴美子(南)、大久保満男、福井絢一、佐藤 昭(戸部)、岡本伊織、田辺孝雄、横溝一則(港北)、鈴木正雄(緑)、飯田 敬(青葉)、関登志江、椿 憲司(栄)、中丸定昭(泉)、和田廣蔵、奥山 清(横浜水上)、今 満、寺杣光正(川崎臨港)、中谷信行、石山昭典、佐藤 学(多摩)、須崎快治(麻生)、岩崎 のり子(横須賀)、松岡豊和、竹村 修(鎌倉)、小野田幸子(大船)、山本三郎、関水孝志、木内 明(藤沢北)、石田忠勝(茅ヶ崎)、石崎一郎、小島重藏(大磯)、志村裕之(小田原)、山崎 博(松田)、山口 勇、栗原幸長(秦野)、長嶋信博、足立兵一(伊勢原)、島村 弘、内田照夫(厚木)、藤原加代子、安田敏男(大和)、脇元敏子、鈴木賢藏(座間)、井上政市、和田幹男(相模原)

● 交通安全功労団体(3協議会)

- ・戸塚警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 代表：齋藤行夫
- ・宮前警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 代表：篠田勝夫
- ・藤沢警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 代表：本多正美

◆◆◆◆◆ 地域交通安全活動推進委員研修の開催 ◆◆◆◆◆

地域交通安全活動推進委員(以下「推進委員」という。)は、道路交通法等を根拠に、「地域における交通の安全と円滑に資するための活動」として、

交通安全教育、広報・啓発、協力要請、相談、協力援助、実地調査
等を広く行なうことが期待されています。

県協会は、公安委員会から交通安全活動推進センターとして指定を受けて、推進委員に対して研修を行うこととされており、道路交通関係法令や道路交通の現状等について、毎年度ブロック別研修1回、同地区別研修2回を行っています。

ブロック別研修については、10月から全てのブロックで実施計画がありますが、地区別研修は未実施、未計画地区がありますので、事前に日程等調整のうえ、本年度末までに計画的に研修等を開催していただくようお願いします。



トピック 自転車の無料空気入れと交通安全
～相模原交通安全協会～

相模原交通安全協会では、この度、国道16号の自転車道が延伸・整備され、相模原警察署前に電動式の無料「自転車空気入れ」が設置されたことに伴い、多発する自転車事故の防止を呼びかける看板を整備して、自転車利用者に自転車の盗難防止と合わせて交通安全を呼びかけています。



交通事故の悲劇に学ぶ(3)

●「罪の重さ」

私は今まで、重大な事故を起こしたことがなく、交通事故は、私には無関係だと勝手に思って過ごしてきました。それがある日、突然二度と取り返しのつかない過ちを犯してしまいました。

当時、私は、大手の運送会社の荷物を支店から別の支店に運ぶ仕事をしていました。常日頃から危険と隣り合わせだという認識を忘れないようにと、上司から言われてきました。ですが、この時は、仕事の慣れから運転に対する認識が薄れていたと思います。

その日、私は、十分な睡眠を取ることができないまま、夜仕事に向かいました。そして、いつものように朝方まで他のトラックの積み込みの手伝いと、私のトラックの積み込みを終え、朝4時30分頃に出発しました。この時点では、積み込みの疲れ程度で眼気も全くありませんでした。それから30分程走ったところで軽い眠気が、襲って来ました。本来ならこの時点で何処かでトラックを止めて、少しでも休息をしていれば、事態は全然変わっていたと思います。しかし、私は、73キロの速度で、早く降ろし場所に着いて、少しでも多く眠ればいいという焦りと、近いから大丈夫という勝手な判断で走らせてしまい、運転の途中からの記憶がなくなり、完全に眠ってしまいました。

もの凄い衝撃と音で目が覚めましたが、すでに目の前に橋の欄干が迫っていてどうすることもできず、そのまま欄干にぶつかって止まることができました。近くで目撃していた人がすぐに通報してくれたおかげで救急車と消防、警察が到着しました。私は、足を挟まれていて身動きができませんでしたが、レスキューの人に足を抜いてもらい、トラックから降りることができました。

私は、すぐに携帯電話を探し、会社へ電話をすることが精一杯で、家に電話をすることもできませんでした。相手の状況がわからないまま、警察に連れていかれ、事情聴取が行われました。事情聴取中に搬送先の病院で、お二人の方が亡くなつたことと、お一人の方は意識不明の重体、もうお一人の方は、奇跡的に軽い怪我で済んだと聞かされた時に、私の犯したことの重大さを知り、私の人生が終わつたと思うと同時に目の前が真っ暗になりました。せめて命だけでも助かって欲しいと願う気持ちも叶うことができず、その日



の午後に意識不明の方も亡くなつたと聞かされました。私は、一度に3人の命を奪ってしまった犯罪者になつてしましました。この犯罪によって、被害者ご遺族の方の人生はもちろん、私の家族の人生まで変えてしまった罪の重さは計り知れないことを痛感しました。

2ヶ月後に裁判が始まりました。検察官から読み上げられた意見陳述では、亡くなられた3人の思い出からこれからのるべきはずの将来への希望が切々と語られる中で、私に対する激しい憤りを感じました。私は最後までご遺族の方を見ることも、全てを受け止めることもできず、身体が震えていました。全て私が引き起こした悲しい現実です。

判決では、自動車運転過失致死罪で、禁錮4年の刑を言い渡され、現在、市原刑務所で反省の日々を過ごしています。私はここでさまざまなことを学ばせていただきました。それによって、ようやく被害者ご遺族の方の心情に目を向けることができるようになりました。

しかし、3年経った今でも本当の償いが何なのか答えが見つかりません。刑期が終われば、私の一応の責任は果たせますが、大切な道義的責任が何一つ果たせていません。

被害者の方やご遺族の方の心の傷は時間とともに深くなっていく辛さを理解し、一生この罪と責任を背負って償っていく覚悟です。この先何年、何十年経っても償いには終わりが来ることなどありません。どうか私の様な自分勝手な交通犯罪が減ることを心より願っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第50集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 学校法人 武相学園 横浜市港北区仲手原
- 三橋建設(株) 横浜市青葉区あざみ野
- (株)イワサキ 横浜市泉区和泉町

その324 相模原交通安全協会から

相模原交通安全協会（井上政市会長）では、JR淵野辺駅北口商店街の飲食店を警察官とともに訪問し、「飲酒運転根絶」、「ハンドルキーパー」を内容とするチラシなどを配布しながら、飲酒運転の根絶とハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



ハンドルキーパー
運動の紹介

その323 逗子市交通安全協会から

逗子市交通安全協会（小林壽志会長）では、JR逗子駅前の飲食店20店舗を警察官とともに訪問し、「飲酒運転根絶」の幟旗を掲げ、標語入りのミニのぼり旗やトイレロール紙を配布しながら、従業員などにハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



☆反射材☆ファッションショー

先般、相模原市南区の小田急線相模大野駅前「ボーノ相模大野」において神奈川県警察が主催する“反射材ファッションショー”が開催され、相模原南交通安全協会等交通関係団体などが協力したほか、相模女子大学のダンス部や演劇部などの学生が多数出演しました。

ショーは、ダンス部の学生が衣装に反射材を付けてリズム感のあるエネルギーッシュなダンスを披露しスタートしました。

続いて“ランウェイ”的周囲をダンス部の学生が音楽に合わせてリズムを取る中、生活デザイン学科学生の手作りによる反射材を取り込んだ衣装によるファッションショーが始まり、親子や学生自身が扮したモデルの反射材にライトが当たると、笑顔を振りまきながらそれぞれポーズを決めて、拍手喝采を浴びていました。

その他会場では、手作り反射材や白バイ体験乗車などの各種交通安全コーナーを設け、交通安全を呼びかけました。

反射材を使って事故を防止しましょう！

みんな、聞いてくれ！
「はんしゃさい」
って、
知っているかな？？
おかけるときに
大切なものです！

かんしゃさい…？
バーゲンのことかしら？！

…「反射材（はんしゃさい）」は、
輝きを利用した交通事故防止グッズです。
身の周りの待ち構つけて事故を防止しましょう！

自転車にも
付けてね！

リフレクターで
反射材を追加！

…反射材は、受けた光（車や自転車のライト）を
光源に返す「反射性反射」で輝いているので、
並んでいる本人に対して光は当たりません。

でも、センスも大事に
したいわよね！

「反射材」は、動物の形や
キャラクターのキーホルダータイプ、
靴の「かかとジールなど様々な商品が販売され
ています。（セレクトショップや駄菓子など）

30m 50m 100m

神奈川県警察



（「反射材ファッションショー」フィナーレ）

黄色でも ぼくの気もちは 赤しある

この人

119



保土ヶ谷交通安全協会
会長
いたばし
さとる

板橋 悟さん



保土ヶ谷区は、東海道五十
三次の4番目の宿場町、程ヶ谷
宿として栄えた歴史ある街で、
横浜の中心にあり、「横浜のヘン」
と言われています。東京箱根間
往復大学駅伝競走で花の2区
の勝負所として「権太坂」の地
名が有名ですが、区内はその権
太坂を筆頭に山坂が多く、その
谷あいを東海道と16号線、環
状2号線、第三京浜が走り、東
京と横浜以西を往来する車両
の多い交通環境にあります。

保土ヶ谷交通安全協会会長
の板橋悟さんは保土ヶ谷区内
で生まれ育ち、昭和63年1月に
45歳という若さで第8代会長
に就任されました。青年実業
家として多角経営に手腕を振
るう傍ら、悲惨な交通事故を
1件でも減らしたい、その役に
立ちたいとの一念で警察を中
心に関係機関・団体と連携、協
働して活動の先頭に立ち、実効
性のある啓発活動を訴え、28
年もの長きにわたって陣頭指揮
に当たってきました。その姿は、
交通安全5団体の役員をはじめ
多くのボランティアの模範と
なっており、他のボランティア組
織等からも絶大な信頼が寄せ
ています。

(取材協力…保土ヶ谷交通安
全協会)

ここには 「戸部交通安全協会」です

ここには、横浜市西区にある戸部
交通安全協会です。

西区は、横浜市で一番小さな区で
人口は10万人弱ですが、昼間の人口
が夜の人口よりも約1.8倍にもなります。
鉄道を挟んで北部・南部・みなとみらい
21地区に分かれており、北部・南部方
面は山坂が多く、開港以来の歴史と下
町情緒に溢れ、みなとみらい21地区は
商業施設や観光施設が多く今も発展
を続けています。

昨年、区制70周年を迎えて「西区の温
故知新!ひと・まち交流指針」の5つの行
動目標を掲げ、様々な事業を通じて歴
史を振り返ることで、今まで気づかなか
ったことや、新たな魅力を発見することが
出来ました。

横浜の商業・業務の中心地として各
方面から集中する鉄道の横浜駅をか

かえ、道路網は国道1号、同16号、環
状1号など主要幹線道路が縦横に走
っています。

区内には、県内の人身交通事故多
発交差点である浜松町交差点があり
ますが、通過交通による追突などの軽
傷事故がほとんどでありますので、当
協会としましてはその対策と、西区が2
年連続で「高齢者交通事故多発地域」
に指定されましたので、高齢者対策を
推進しています。高齢者対策では、特
に高齢者の方が事故に遭わないよう、
地域のイベント等で反射材やライトを
配布していますが、その際はその場で
活用して効果を確認していただき、身
に着けるようお願いしています。そのた
めか最近よく反射材を着けている方を
街中で見かけるようになり、密かにその
効果を期待しています。

区内の交通事故が減少傾向を示し
ている中で、特に交通死亡事故ゼロを
400日以上も続けている(11/10現在)
ことは、記録的な快挙であり、協会とし

者も手放せずに乗り続けてい
るという実態があり、区内は二
輪車の関係する事故が発生件
数の約4割を占めています。会
長はバイクの事故防止を最重
点に取り組んできましたが、最
近気に掛けているのは、「高齢者
が当事者となる交通事故の増
加」で、横断歩行中にはねられ
たりして被害者になるケースだ
けでなく、車やバイクの運転中
に加害者となるケースが増えて
いることに、「人生の終盤で加害
者となってしまう人を見るのは
辛い」と胸を痛められています。

そのため、シルバードライビング

スクールのみならず、高齢者を
対象とした二輪車安全運転講
習の開催、あるいは高齢者の集
う行事を捉えた交通安全ミニ
教室の出前開催などに重点を
置いた活動の強化を図つている
ところです。

板橋会長には、企業経営者
としても多忙を極める中、趣味
のゴルフなどで健康に留意され
今後も益々ご活躍いただきたい
と願っております。



ても励みになり喜びでもあります。これ
は昨年8月の1ヶ月間に2件の死亡事
故が発生したこと、県下の死亡事故
が急増したことにより、戸部警察署リ
ードのもと、当協会をはじめ関係機関
団体が一致団結して死亡事故抑止
活動を積極的に実施したことが功を
奏しているのではないかと思います。

今後も、警察署等との良好な関係
を大切にして、地域に根ざした活動を
展開していきたいと思いますので、交
通安全活動に興味をお持ちの方、ぜひ
一緒に活動をしてみませんか。

(鈴木 記)

地区交通安全協会の活動紹介



都筑

警察署でプロバスケットチームのチアリーダーに一日警察署長を委嘱し、地元中学校のバスケットボールを先頭に、警察署からセントラル南駅まで200人が交通安全パレードを行いました。



川崎

川崎駅前のアゼリア地下街において、川崎フロンターレのサッカー選手に一日警察署長を委嘱し、地下街通路から銀柳通りにかけてパレードを行い、交通安全を呼びかけました。



中原

武蔵新城駅前に区交番協議会、警察署、母の会等と集合し、交通安全キヤンペーンを展開し、自転車の事故防止、放置禁止を呼びかけました。



平塚市

平塚駅前駐輪場において、平塚警察署「湘南平塚サイクルボリス」の協力を得て、多発する自転車事故の防止を主とした交通安全キヤンペーンを行いました。



津久井

津久井鳥屋地区において、全協会の関係者などが見守る中、児童による鼓笛隊が「交通安全」の横断幕を掲げながら交通安全パレードを実施しました。

緑

JR長津田駅前において、女性の五大路子さんに一日警察署長を委嘱し、警察署長や緑区長などとともに、チラシやグッズを配布しながら交通安全を呼びかけました。



栄

笠間交差点において、交通指導員や母の会などが、「交通事故ゼロを目指す日」のプラカードを掲げ、グッズを配布するなど通行車両に交通事故防止を呼びかけました。



川崎臨港

警察署母の会のほか区役所田島支所「タージマン」が登場して、大型店舗において来店客にチラシやグッズを配布しながら交通安全キヤンペーンを展開しました。



藤沢市

通駅北口前通り1キロ区間の交通安全パレードを行いました。



相模原北

オープンカー2台に一日警察署長に委嘱したタレントが同乗し、交通関係団体がそれに続いて警察署から橋本駅前を経由して大型店舗まで交通安全パレードを行いました。



インフォメーション

- 飲酒運転根絶強化月間 (12月中)
- 二輪車安全運転特別講習 (12/19)
- 年末の交通事故防止運動 (12月11~20日)